The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2012年7月号　通巻43号　毎月1日発行　購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2012

責任編集：宮本拓海　発行：東京タヌキ探検隊！ tokyotanuki.jp

タヌキをデジカメで撮りたい！

その前に、まずはネコちゃんで練習を

(写真右)今回撮影に使用したPentax OptioWS80。重さ125g。2009年発売。

(写真左)距離4m。画像加工無し。街灯のおかげか明るく写っている。
(写真中)距離5m。レベル補正をしている。街灯が届かない場所なのでかなり苦戦。

東京にタヌキやハクビシンがいるのなら、写真を撮ってみたい！と思われている方はきっといるでしょう。実は私もそうです。ということで、今回は撮影に適したデジカメについて考えてみましょう。

タヌキ撮影に必要なスペック

タヌキ・ハクビシンの撮影で一番難しいのは、いつ、どこで会えるのか予測不可能なことです(しかもかなりの低確率！)。高級なカメラがあればいい写真が撮れるのは当然ですが、重たいカメラをいつもいつも無駄に持ち歩くわけにもいきません。そのため軽量のデジカメをお勧めします。最近のデジカメには重さ100〜150g程度の製品があります。スマートホンと同じぐらいの重さです。これならお荷物にならずにいつでも持ち歩くことができます。小型軽量でも最近のデジカメは十分な性能があります。タヌキ撮影だけでなく、日常のスナップ撮影でも役に立つでしょう。

もうひとつ難しいのは、タヌキもハクビシンも夜行性ということです。つまりフラッシュが付いていないとちゃんとした写真は撮れません。携帯電話やスマートフォンに付属のデジカメはフラッシュがないか、あっても非力なので、夜間撮影には向いていません。小型でもフラッシュ付きのデジカメを使うべきです。

とにかく練習あるのみ！

デジカメの準備ができたならば、必ず一度は暗い場所で撮影の練習をしましょう。タヌキの代わりに、ご近所の野良猫にモデルになってもらうといいでしょう(ですので、日頃からネコちゃんとは友好関係を築いておくように！)。

動物を撮影する時は、逃げられる前にすばやく撮らなければなりません。デジカメの設定をいろいろいじってから撮影、というのでは動物はどこかに行ってしまいます。設定はオート(自動で最適設定をするモード)にしておいて、電源を入れたらすぐに撮影できるようにしておきます。カメラを取り出してシャッターを押すまでの動作をスムーズにできるように何度も練習しましょう。

練習の時には、フラッシュの光が届く距離も確認してください。実は小型カメラのフラッシュはせいぜい数mしか届きません。どのくらいの距離なら光が届くのか試してみましょう。

上の写真はネコちゃんを撮ってみた例ですが、やはり暗い場所は難しいですね…。街灯の有る無しでも結果は違ってきます。とにかく実際に自分のカメラで何度も何度も試してみるのが一番の練習です。いつかタヌキに出会える日を夢見て！

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。
http://tokyotanuki.jp